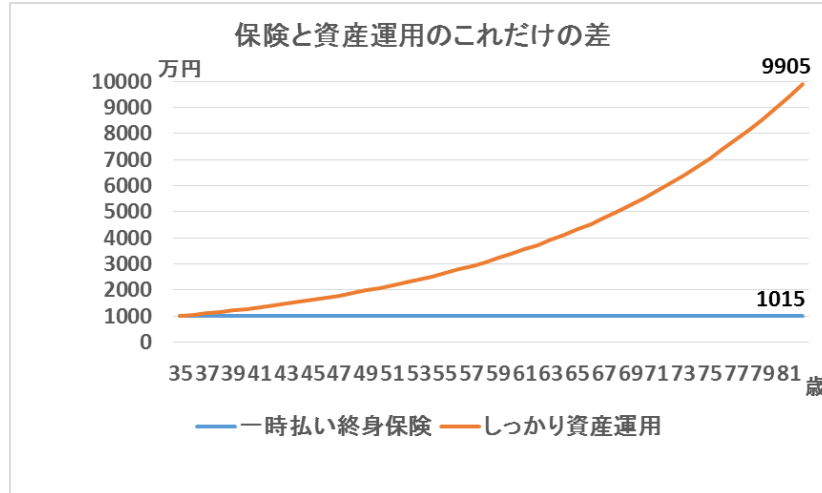


ATTENTION

終身保険に、いま入るのは危険



皆さんの中でも、終身保険に入っている人は多いでしょう。しかしながら、現在ではマイナス金利になり、長期にわたり保障する保険は意味を成さなくなっています。逆にうっかり入ると大変なことになる。たとえばニッセイ・マイステージという一時払い終身保険は、現在35歳の男性が1,000万円の一時払いで1015万円の死亡保険金がもらえる内容になっています。これを元本割れがないからいいかいうと大きな間違いです。35歳男性の平均余命は47年なので、平均寿命は82歳。平均的には82歳で1015万円の死亡保険金を受け取ることになります。この47年間の利回りはたったの0.03%。これが払い込み時に確定するのです。その間にインフレになれば、保険金の価値は大きく目減りしてしまいます。一方35歳から1,000万円を世界の株式で47年間運用すれば、課税後想定利回り5%で1億円近くになるのです。このような見方をせず安易に保険に入る人が大変多いです。終身保険のような長期の保険は現在、相続対策(500万円×相続人の数が相続財産から控除)以外にメリットはありません。自らあるいは後の世代に贈与したりして、しっかり運用すれば、後々よほど喜ばれることでしょう。

COLUMN

きちんとした外国人労働力受け入れ態勢を

先日、近くの居酒屋に行って注文したら対応した若者が「私、日本語わからない。」ととたどしく答えたのには驚きました。そのあと出てきた店員もアジア系の若者。こちらは注文をしっかりと受けてくれましたが、店員4人ともみなアジア系の若者でした。このところこのように飲食店やコンビニは、アジア系外国人なしには成り立たないようになって来ています。

こういった労働力の受け入れ態勢は、大いに問題含みの状況になっています。都会や農漁村での労働力に、本来あるべき留学生受入制度や技能実習制度がゆがめられて使われているのです。留学は隠れ蓑で、実際にはいくつもアルバイト先を掛け持ちして授業は昼寝の時間とか、技能実習といいながら実は農作業や漁業などきつい労働に低賃金で駆り出され、中間マージンをどっさり斡旋業者に搾取されるということが横行しているというのです。

これでは却って劣悪な労働環境が温存され、高齢化が進む農漁業の効率化を阻みかねません。また、外国人労働力の必要性が高まる中、技能実習とか留学などという「やらせてあげる」目線で労働力を確保しようというのは、虫のいい話といえます。ゆがんだ労働市場は、日本の品格を落とすものでもあります。今後高齢化が進み労働力が逼迫することが明らかな中、きちんとした法制度の下、外国人労働力の受け入れ体制をつくることは、喫緊の課題です。そうしないと、高度な人材などいつまで経っても来ないし、こういった補完労働力もいずれ日本をパスして他の国に行ってしまうでしょう。

MARKET

	(1月末)	(12月末比)
日経平均	23,098.29円	+333.35円 (+1.5%)
NYダウ	26,149.39ドル	+1,430.17ドル (+5.8%)
米ドル	109.25円	-3.39円 (-3.0%)

今月の言葉:

・足るを知れば辱められず、止まるを知れば殆(あや)うからず。

・足るを知るの足るは、常に足る。

-老子

充実した人生を送る秘訣

人生100年時代がいよいよ現実になってきました。安倍政権は「人生100年時代構想会議」なるものを立ち上げました。いろいろ言われる安倍政権ですが、ここは目の付け所がいいといつてよいでしょう。先日日経の文化欄(1/14)で、80歳で日本芸術院会員になった詩人の高橋睦郎氏が次のように述べていました。「芸術院会員伝達式当日が80歳の誕生日だった偶然によって、すべてが運命なのだと思うことにし、80歳を零歳として新しい人生を生きる決心がついた。平均寿命が伸びた今日、12進法による還暦60歳は、16進法80歳に変えてもいいのではないかと思うのだが、いかがだろう。新しい人生においては、ひたすらに未来を向いて、これまで以上に過激に生きて行きたい。そのためには身心にわたる健康を心がけることが第一。詩作のテーマはこれまで同様、いやそれ以上に真摯に、ひたすら向こうから来るものを待ち、受け止めるのみだ。」いかがでしょう。思わずこちらも元気をもらってしまいます。

こちらの日経の経済教室(1/15)に、慶應大学、鶴教授の「人生100年伸ばせ『性格力』」と題した論文が掲載されていました。長い人生、特に60歳以降の生き方を考える上で、大変参考になる視点がありますので、紹介しましょう。

前述の「人生100年時代構想会議」のメンバーで、「人生100年時代」の火付け役でもある英国学者リンダ・グラッドストーン著「ライフシフト 100年時代の人生戦略」を紹介し、仕事を80歳まで出来るようになることを見据え、年齢に関係なく学び続けることが重要で、機会を見つけて本格的に学び直しをする必要性を説いています。

そこで、何を学ぶべきか。AIに代替されないような能力やスキルを身につけることが年齢を問わず重要とされています。その中でもカギとなるのが「性格スキル」。性格スキルは「開放性」(好奇心や審美眼)、「真面目さ」(目標と規律を持って粘り強くやり抜く資質)、「外向性」(社交性や積極性)、協調性(思いやりや優しさ)、「精神的安定性」(不安や衝動が少ない性格)の5つの因子に分解できるとのことです。

中でも「真面目さ」がもっとも職業人生に大きな影響を与えるというのです。これは日本、米国両国の研究で同じ結果が出ていて、これら因子の中で、もっとも所得を高めるとのことです。そして「真面目さ」と並んで職業人生に強い影響を与える(所得を高める)性格スキルとして「精神的安定性」の側面の一つである「自力本願」(行動や評価を他人よりも自己に求める傾向)や「自尊心」を上げています。そして、どんな学歴の人でも性格スキルが高まれば賃金が高まり、どんな道に進もうとも人生が開けていくというのです。

そして大いに勇気付けられることは、職業人生でもっとも重要な「真面目さ」、自力本願や自尊心を含む「精神的安定性」は長い人生を通じて伸ばし続けることが出来ることなの事です。人生100年時代、身心ともに元気で充実した人生を送る秘訣は、こういった面を伸ばし続けるように常日頃努めることにあるのではないのでしょうか。

SEMINAR

大幅刷新！びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのには大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！



びとうファイナンシャルサービス 代表 尾藤 峰男

日時： 2018年2月24日(土)15:00~17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「2月24日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
メール： info@bfsc.jp Tel： 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール： info@bfsc.jp